

令和元年度大阪府子どもの読書活動推進に関する調査（私立学校用）

令和元年度に実施された子どもの読書活動推進の取組みについてお聞きします。（1～3月に実施を予定しているものも含めて、回答してください。）

色のセルには「1」を入力してください。

色のセルは数字や文字を記入してください。

※ 回答する際に、行の高さを変更することは可能ですが、行や列の追加・削除はしないでください。

学校名		
小学校は「1」、中学校は「2」、中等教育学校は「3」、高等学校は「4」を入力してください		
本調査回答者	職名	
	名前	
連絡先電話番号		

< I 学校図書館の利用状況等について >

1. 学校図書館の総貸出冊数をアの回答欄に記入してください。把握していない場合は、イの回答欄に「1」を入力してください。

学校図書館	総貸出冊数（令和元年12月末現在）	回答欄
ア	総貸出冊数	
イ	把握していない	

2. 学校図書館の授業期間・長期休業期間の開館状況について、回答してください。

学校図書館の授業期間の開館状況について、平日の開館日数を記入してください。

授業期間	平日の開館日数		※平日を5日として
	週	日	

学校図書館の長期休業期間の開館状況について、ア～ウの該当する項目の回答欄に「1」を入力し、ア、イを選んだ場合は、開館日数を記入してください。

	開館状況		回答欄	長期休業期間の開館日数		
	長期休業期間	ア	定期		平日	週
イ		不定期		夏休み		日程度
				冬休み		日程度
				春休み		日程度
ウ	開館していない					

3. 各教科、領域における学校図書館の活用の有無について、それぞれ該当する項目に「1」を入力してください。

各教科、領域	活用の有無	
	ある	なし
国語		
社会・地理歴史・公民		
算数・数学		
理科		
音楽		
図画工作・美術		
保健体育		
技術・家庭		
外国語活動・外国語・英語		
道徳		
特別活動		
総合的な学習の時間・総合的な探求の時間		
その他		

どの教科・領域においても学校図書館を活用していない場合は、その理由を記入してください。

--

4. 児童・生徒が調べ学習を行う際、調べ学習の方法について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

調べ学習の方法	回答欄
主にコンピューター等の情報端末機	
主に本	
コンピューター等の情報端末機と本	
その他	

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な方法を記入してください。

--

< II 学校図書館の運営について >

5. 学校図書館の円滑な運営を図るための組織（※）について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

組織の設置		回答欄
ア	設置している (インターネット掲示板なども含む)	
イ	設置していない	

⇔ 6へ

⇔ 7へ

※ 図書の選書、学校図書館のレイアウト、イベント等について、定期的に協議・検討を行う組織

6. 5で「ア 組織を設置している」と回答した場合は、組織の開催頻度・構成員について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

組織の開催頻度	回答欄
週1回程度	
月1回程度	
学期に1回程度	
年に1回程度	
組織の構成員（複数回答可）	回答欄
司書教諭	
司書教諭以外の教員	
学校図書館担当職員（いわゆる学校図書館司書）	
ボランティア	
管理職	
児童・生徒	
その他	

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な組織の構成員を記入してください。

7. 5で「イ 設置していない」と回答した場合は、その理由について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

理由（複数回答可）	回答欄
時間的な余裕がない	
人的な余裕がない	
その他	

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な理由を記入してください。

<III 公立図書館との連携について>

8. 公立図書館との連携について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

公立図書館との連携		回答欄
ア	行っている	
イ	行っていない	

⇨ 9へ
⇨ 10へ

9. 8で「ア 行っている」と回答した場合は、連携内容について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

連携内容（複数回答可）	回答欄
団体貸出	
図書配送システム	
移動図書館	
担当者連絡会（※1）	
連絡学習会（※2）	
司書の派遣（学校図書館の整備、読み聞かせ等）	
公立図書館見学	
職業体験（インターンシップ）	
図書やイベント等の情報共有	
ビブリオバトル	
レファレンス	
リサイクル図書	
その他	

- | |
|------------------------------|
| ※1 公立図書館の担当者と資料の貸借等について話し合う会 |
| ※2 公立図書館の担当者とともに研修 |

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な連携内容について、記入してください。

10. 8で「イ 行っていない」と回答した場合は、その理由について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

理由（複数回答可）	回答欄
公立図書館が遠い	
時間的な余裕がない	
人的な余裕がない	
連携する公立図書館がない	
連携する方法がわからない	
公立図書館が学校との連携を実施していない	
学校図書館の機能が学校教育を実施する上で十分である	
教職員の要望がない	
読書ボランティア等と連携して読書環境の充実に努めている	
その他	

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な理由について、記入してください。

11. 今後、公立図書館と望む連携内容について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

連携内容（複数回答可）	回答欄
団体貸出	
図書配送システム	
移動図書館	
担当者連絡会（※1）	
連絡学習会（※2）	
司書の派遣（学校図書館の整備、読み聞かせ等）	
公立図書館見学	
職業体験（インターンシップ）	
図書やイベント等の情報共有	
ビブリオバトル	
レファレンス	
リサイクル図書	
その他	

- | |
|------------------------------|
| ※1 公立図書館の担当者と資料の貸借等について話し合う会 |
| ※2 公立図書館の担当者とともに研修 |

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な連携内容について、記入してください。

<IV 読書ボランティアとの連携について>

12. 読書ボランティアとの連携について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

読書ボランティアとの連携		回答欄
ア	行っている	
イ	行っていない	

⇨ 13へ
⇨ 14へ

13. 12で「ア 行っている」と回答した場合は、連携内容について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

連携内容（複数回答可）	回答欄
読み聞かせ	
ブックトーク	
読書相談の対応	
学校図書館だよりの発行	
調べ学習の補助	
学校図書館の環境整備（本の整理等）	
本の展示	
図書の修繕	
貸出・返却業務	
本の受入と配架	
本の廃棄	
配送作業等の補助	
その他	

⇨ 「その他」と回答した場合は、具体的な活動内容について、記入してください。

14. 12で「イ 行っていない」と回答した場合は、その理由について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

理由（複数回答可）	回答欄
時間的な余裕がない	
人的な余裕がない	
連携するボランティアがいない	
ボランティアと学校の条件が合わない（日程や内容など）	
学校図書館の人材が学校教育を実施する上で十分である	
教職員の要望がない	
その他	

⇨ 「その他」と回答した場合は、具体的な理由について、記入してください。

<V 子ども読書活動推進の取組みについて>

15. 子ども読書活動推進の取組みについて、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

子ども読書活動推進の取組み		回答欄
ア	行っている	⇔ 16へ
イ	行っていない	⇔ 17へ

16. 15で「ア 行っている」と回答した場合は、取組み内容について、該当する項目に「1」を入力してください。

取組み内容（複数回答可）		回答欄
学校図書館の利用方法等のオリエンテーション		
一斉読書（朝読など）	① 全学年で実施	
	② 一部の学年で実施	
図書の読み聞かせ		
ブックトーク		
ビブリオバトル		
児童・生徒による本の帯やポップづくり		
必読書コーナーや推薦図書コーナーの設置		
教室に児童・生徒が自由に読める本を設置		
目標とする読書量の設定		
「読書マラソン」など読書量を競う活動		
読書を記録するカードの使用		
コンクール（読書感想文、調べ学習等）への参加		
学校の教職員（学校図書館担当職員（いわゆる学校図書館司書）以外）による本の紹介		
学校図書館担当職員（いわゆる学校図書館司書）による本の紹介		
公立図書館司書やボランティアなど外部人材による本の紹介		
校種間連携による取組み		
家読の推奨		
「ノーテレビノーゲームデー」や「ノースクリーンデー」など		
児童・生徒の生活時間を見直す取組みの推奨		
その他		

一斉読書を実施していない場合は、その理由を記入してください。

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な取組み内容について、記入してください。

17. 15で「イ 行っていない」と回答した場合は、その理由について、該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

理由（複数回答可）	回答欄
予算的な余裕がない	
時間的な余裕がない	
人的な余裕がない	
どのように実施すればよいかわからない	
その他	

↓ 「その他」と回答した場合は、具体的な理由について、記入してください。

18. 児童・生徒がより読書をするために、学校で有効だと考える取組み内容について、それぞれ該当する項目の回答欄に「1」を入力してください。

取組み内容	回答欄			
	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校図書館に児童・生徒が好む本を置く				
教室に自由に読める本を置く				
休み時間や放課後など、学校図書館の開館時間や開館日を増やす				
学校図書館の雰囲気を児童・生徒の好むものにする				
友だち同士で、読んだ本やおすすめの本を紹介し合う				
先生からおすすめの本を紹介する				
同世代の子どもが読んでいる本を紹介する				
児童・生徒に本を読むことの意味や効果を明確に示す				
自分で調べて発表する授業を実施する				
授業で学校図書館を活用する				
学校で児童・生徒が読書をする時間を確保（または増加）する				
学校図書館の本の貸出を便利にする （1回の本の貸出冊数を増やす、貸出期間を長くするなど）				
本に関するコンクールを実施する（調べ学習コンクールなど）				
タブレット端末を活用した読書活動を実施する				

19. 支援を必要とする児童・生徒（障がいのある児童・生徒や、日本語を母語としない児童・生徒等）が読書に親しむために、17で回答した理由以外で貴校での課題があれば記入してください。